

授業科目の区分等：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	4年	2	必修
担当教員			
築 雅之			
B (経営学科)	S (専門科目)	SM (演習)	404 (専門ゼミ・卒業論文等)
授業のねらい (概要)	経営学研究の実践的な方法や最新の知識や手法、自ら学び続ける態度や課題解決力と自発的、創造的な学修態度を育てることを目的とする。 学生自ら興味や関心のある経営の諸活動に関する研究課題を設定するとともに、各自の研究課題に則した研究計画の策定から、各自の研究計画に基づく資料収集や分析、報告、意見交換などを繰り返しながら、自己の考えを展開する能力を高めるとともに、研究成果に関する成果発表に向けた指導を行う この担当者の開講科目では主に、経営情報、情報技術、情報システム、情報ネットワーク、情報教育の研究分野を題材として、この分野の実務者、技術者、研究者を想定した基礎的な素養もあわせて育成する。		
授業計画	<p>論文や制作を完成させる時期である。論文本体の個別指導、ゼミでのディスカッションを中心にすすめてゆく。 そのため、以下の&lt;1&gt;&lt;2&gt;を行う</p> <p>&lt;1&gt;以下を行なう (1) 教員の指導の下、卒業論文、卒業制作を完成させる。</p> <p>&lt;2&gt; 以下のトレーニングを毎回行う。 (1) 研究概要及び論文の細部の要約・発表。 (2) 上記に関するコメントディスカッション (3) 論文本体の個別指導</p> <p>&lt;3&gt; &lt;1&gt;&lt;2&gt;のまとめとして論文本体を完成させる。</p> <p>予習 (時間) : 論文本体の発表 教員の指示に従い発表準備 (180) 復習 (時間) : 論文本体の修正 教員の指示に従い修正、再検討 (60)</p>		
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	<p>DP(商学部)の2項目を意識した科目となっている。 2. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 3. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力 DP(経営学科)の1項目を意識した科目となっている。 2. 経営資源 (ヒト、モノ、カネ、情報) を多面的に理解し、活用できる能力</p> <p><b>【身に付くスキル】</b> 課題解決力・創造的思考力</p>		
到達目標	<p>(1) これまでの学びを踏まえ、教員の指導の下、卒業論文や卒業制作を完成することができる。 (2) 卒業論文の全体構成及び細部に関する発表を行ない、質疑応答ができる。</p>		
課題や小テスト等のフィードバックの方法	授業時間内あるいはMellyでの文書で全体的な解説を行うとともに、必要に応じて個別への指示を行う。 特に論文本体の執筆、レジュメ、スライド作成、口頭発表についてのコメントと個別指導は随時行なう。		
履修上の注意	大学での学びのまとめとして卒業論文に取り組む覚悟と気概をもってほしい。 また、研究や論文執筆は、個人のみ力でできるものではなく、関心を同じくする同僚とのディスカッションやアドバイスがあって、初めて可能になるものである。自らの研究に加えて、同僚ゼミ生の研究にも関心をもち、互いにより学びができる環境を作るよう心がけてほしい。そのためにも、無断での欠席は極力避けること。発表者である同僚に「あなたの研究は聞く価値がない」とメッセージを発しているも同然だからである。		
成績評価の方法・基準	ゼミ活動における発表・相互コメント・課題など50%、論文本体50%。		
教科書	「最新版 大学生のためのレポート・論文術」 (講談社現代新書) ISBN番号：4065135028 著者名：小笠原喜康 出版社：講談社 価格：800円(税抜き)		
参考書・教材			
備考	講義科目 (ゼミ形式)		
教員との連絡方法	大学ドメインのメール、Mellyでの個別連絡を併用。Line、Gmail等は原則として使用しない。		